

ドコモのLTE回線を利用した渋谷区ICT教育システム「渋谷区モデル」、9月から渋谷区の公立小中学校で導入開始

株式会社NTTドコモ(以下、ドコモ)のLTE回線が、渋谷区教育委員会(以下、渋谷区)が推進する渋谷区ICT教育システム「渋谷区モデル」に採用され、9月より渋谷区内の全小中学校の児童、生徒、教師約8,800人^{※1}が利用を開始します。「渋谷区モデル」は、児童生徒一人一台のLTEタブレットを配布して、学校に限らず「いつでも、どこでも」学べる学習環境を用意し、子どもたちが21世紀型能力^{※2}を身に付けられる各種の学びを提供していくものです。

ドコモは2016年5月から2017年3月まで渋谷区内の小学校5年生を対象に、ドコモのLTE回線を内蔵したタブレットと、クラウド上で利用する学習ツールを活用することで、児童同士や児童と教師がコミュニケーションをとりながら協働して学習する「渋谷区モデル」の有用性について、放送大学中川教授の監修のもと共同実証を行ってまいりました。

児童や教師が同じ学習環境を備え、学校に留まらず、場所や時間を選ばずにコミュニケーションをとりながら協働して取り組むことで、他の児童から刺激を得たり、考えを深めたり、友達からコメントをもらうことでやる気につながる等、学習意欲向上への効果が確認できました。また、教師と児童のコミュニケーション時間や学力の向上、児童のICTリテラシーの向上等の効果も確認できました。

これらの検証結果により、「渋谷区モデル」の導入においてモバイルネットワークの有用性や、ドコモのLTE回線の品質が評価されました。

ドコモは、中期戦略2020「beyond宣言」の実現に向けて、パートナーとともに社会課題の解決や日本の成長とより豊かな社会の実現をめざして「ソリューション協創」に関する取り組みを創出してまいります。

※1 2017年9月1日時点で、利用開始するLTE回線数。

※2 「生きる力」としての知・徳・体を構成する資質・能力から、教科・領域横断的に学習することが求められる能力を資質・能力として抽出し、これまで日本の学校教育が培ってきた資質・能力を踏まえつつ、それらを「基礎」「思考」「実践」の観点で再構成した日本型資質・能力の枠組み。(引用元:文部科学省「育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と評価の在り方に関する検討会(第9回)配付資料」、「参考資料8 求められる資質・能力の枠組み試案」、「3、(4)求められる資質・能力の枠組み試案」)

本件に関するお問い合わせ先

株式会社NTTドコモ

第一法人営業部 第六担当 第二担当

TEL: 03-5156-3355

1. 「渋谷区モデル」イメージ

渋谷区ICT教育システム「渋谷区モデル」 4本の柱



2. 「渋谷区モデル」のネットワークイメージ

ネットワーク環境（セルラー×フルクラウド）

